

① 学習指導案

| | |
|------------------|--|
| プログラム | No. 1 1 「地域景観プランナーになろう」 |
| 単元名 (全 40 時間) | ホスピタリティを広めよう |
| 学習のねらい | <p>○場所によって地域・自然・景観のよさが異なることに気づく。</p> <p>○自分の暮らす地域と、訪れた場所の地域・自然・景観との違いを知る。</p> <p>○自分のまち（地域）のよさについて、友達の考え方や見方に違いがあることを知る。</p> <p>○情報収集能力を身につけ、情報を効果的に伝えていく方法を体験する。</p> <p>○まちのよさを活かしていくために必要なことを話し合う。</p> |
| 学習内容 | <p>1 地域と自分の関係を考え、地域の課題等を考える。</p> <p>2 自治会長ヘインタビューと地域探検を通して、地域を見つめ直す。</p> <p>3 他地域を訪れ、体験や取材をし、自分の地域にも活かせることをまとめる。</p> <p>4 「桜が丘花ロード」を作る。</p> <p>5 地域の景観や景観を守るためのポスター・パンフレットを作製し、地域の景観や地域のために活動すること、地域の人と交流するよさを表現する。</p> <p>6 今後も活動を継続していくための方策を話し合う。</p> |
| 参考資料 | |
| 準備品 | iPad、記録用紙、地域地図、花、土、プランター |
| 実施場所等 | 教室、特別活動室、佐渡島（調べる地域）、通学路、桜が丘公園 |

学習の流れ


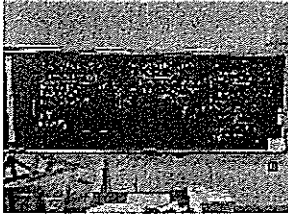
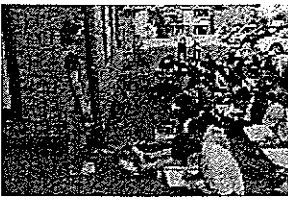


| 時間 | 学習活動 | 教師の指導 | 評価 |
|----|---|---|--|
| 15 | 1 佐渡で訪れた地域が行っていた地域をよりよくする方法で、自分の地域に活かせることを挙げる | ○グループでまとめたものを提示し、共通することを取り上げたりキーワードにしたりする。 | ○情報収集したことを基にまとめることができたか。 |
| 20 | 2 挙げられたことと自分たちの思い、自治会長の思いを合わせ、地域の中でできることを考える。 | ○地域性を活かすこと、今あるもの・ことを活かすことで独自の景観や地域のよさが発揮されることを伝える。 ○人によって見方や考え方が違うことをおさえ、複数の実践を行うことを伝える。 | ○地域ごとに違いがありそれぞれの地域によさがあり、見方や考え方もそれぞれであることを理解したか。 ○地域がよりよくなるために、効果的な方法を考えられたか。 |
| 10 | 3 実践の順番や分担を考える。 | ○自分のやりたいことを担うことで意欲を高めさせる。 | |




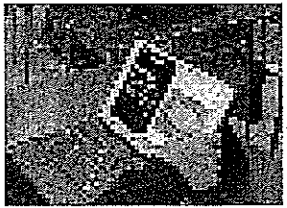
<留意点>

- ・佐渡では班別行動があり、全員では行かない地域があるため、各地域のよさ等を丁寧に取り上げる。
- ・それぞれの地域によさがあり、見方や考え方にも違いがあることをおさえる。

② 事業実施報告書詳細

学校名 新潟市立桜が丘小学校

| 時間数 | 場所 | 概要 | 活動記録 (写真) | 対象者の反応 |
|-----|-----|---|--|---|
| 2 | 学校 | <ul style="list-style-type: none"> ・自治会長さんから自治会が住民のためになる活動をしていること、自治会の活動に参加してくれる方が減少傾向にあることを聞き、小学生の自分にできることを考えた。 |  | <ul style="list-style-type: none"> ・自治会が自分たち住民のために住みよい町づくりをしてくれていたことを知った。 ・自治会がやっている花の管理やきれいな町を保つポスターづくりなどを知りたいと考えた。 |
| 4 | 学校 | <ul style="list-style-type: none"> ・修学旅行で行く佐渡のホスピタリティについて調べ、景観を大切にしながら観光業を行っていることを知った。 |  | <ul style="list-style-type: none"> ・佐渡が伝統や地域性を大切にしながら町づくりをし、人々の心を癒しているのではないかと考えた。 ・体験したり、インタビューしたりすることで、本当に地域性を活かした町づくりをしていることが分かった。特に、佐渡は海や山、夕日など自然物にあふれていることを知った。 |
| 8 | 佐渡島 | <ul style="list-style-type: none"> ・実際に佐渡に行き、景観を調べたり、民宿の女将さんにインタビューしたりすることを通して、景観を大切にすることで、観光に訪れる人や地域住民の心の癒しになることを学んだ。また、そのことがホスピタリティになることも確認した。 |  | <ul style="list-style-type: none"> ・自分の地域の地域性を改めて考えたいという思いをもった。 |
| 6 | 学校 | <ul style="list-style-type: none"> ・佐渡で学んだことを活動班ごとにまとめ、発表し、自分の地域の地域性は「植物」なのではないかと考えた。 |  | |
| 2 | 地域 | <ul style="list-style-type: none"> ・学校近辺の5か所の公園を回り、公園までの道路や公園内に自分の地域の地域性ととらえた「植物が多い」が当てはまるかを確認した。 |  | <ul style="list-style-type: none"> ・もっと植物を増やしたり、ごみを掃除したりして植物をさらにきれいに見せたいと考えた。 ・ポスターを作り、植物の魅力を伝えたり、町の魅力を伝えたりしたいと考えた。 |
| 5 | | <ul style="list-style-type: none"> ・植物の見栄えをさらによくすることで、住民の心を癒したいという願いをもち、自分たちにでき | | |

| | | | | |
|---|----------|---|--|--|
| | | ることを考え、意見交流した。 | | |
| 4 | 学校 | <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちにできることとして、「花植え」「ポスター」「そうじ」を挙げた。花屋、デザイナー、自治会長に来校していただき、花・ポスター・そうじのことについて教えていただいた。 |  | <ul style="list-style-type: none"> ・教えていただいたことで見通しがもて、意欲が高まっていた。 |
| 7 | 地域 学校 | <ul style="list-style-type: none"> ・花は、手作りプランターや既製のプランターに植え、通学路に置き、「花ロード」を作った。既製プランターは3つの公園に置いた。ポスターは、「未来の町」をテーマに、町がよりきれいになるよう願いを込めて描いた。そうじは、学校の回りや近くの公園を中心に行った。 |   | <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの活動を見ていた住民の方が手伝いに出てきてくれるなど、住民との交流を行いながら活動した。 ・地域の方から称賛のコメントをいただいたり、一緒に活動したりすることで、「地域のためにもっと活動したい」という意欲がわいてきた。 |
| 2 | 学校 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域に生きる一員として大切なことを考えた。 |  | <ul style="list-style-type: none"> ・学習のまとめとして、「一人一人が地域の人や環境のことを考え、自分にできることをすることが大切」とし、自分にできることを一人一人が考えた。 |

③ 実施内容について

(1) 実施にあたり工夫した点

- ・自分たちの住む地域と他地域を比較したり，自分の住む地域の地域性を発見したりしながら，自分の地域のよさを再認識するようにした。
- ・子ども一人一人が地域に対して自分のできることを行うことでよりよい地域にできることを実感させられるように，実践は子どもの思いから湧き出たことを複数取り上げて行った。

(2) 実施にあたり苦労した点

- ・コロナ禍ということもあり，地域の方との交流をオンラインで行った。その準備や打ち合わせに苦労した。また，地域の方とのオンライン交流は，子どもとの距離が少しあったため，地域の方の思いが子どもに伝わりにくく，子どもが意欲的になるように教師側で支援策を思案し，講じる点が苦労した。

(3) 児童の反応

- ・息の長い活動を展開してきたため，子どもは町づくりについて長期間考え続け，意欲的に取り組むことができた。そのため，地域をよりよくするための活動を数多く考え，本実践の中でできなかったことは，個別に行っていきたいという思いをもった。
- ・地域の方からの反応をいただけたことで，子どもの中で「地域を大切にしたい」という思いが強くなった。

(4) 担当教諭及び担当外教諭の変化

- ・子どもの時から町づくりや景観のことについて考えることで，未来の町づくりへの希望がもてたり，よりよい町づくりを担う人材を育成したりできると感じるようになった。
- ・花や樹木には，多くの人の心を魅了する力があることを再認識した。また，地域の方とのかかわりを増やすことで，ボランティアの方が集まってくださるなど，町づくりに深く関わっていけることが分かった。

(5) 今後の課題と取り組み〔児童の思考過程と指導内容との関連付けから、留意すべき事項等〕

- ・子どもは，自分の住む地域の地域性は「植物」であると考えている。そのため，できることならもっと多くの花を植えたいと願っている。しかし，花を植えるには費用や場所が必要である。その解決策としては，自治会の方々とともに協力することが挙げられると考える。今回は自治会長とだけのかかわりだったが，今後は，自治会を巻き込むような活動を提案したり，自治会の活動に学校側から参加したりしながら協力体制を確立し，よりよい景観の町にしていきたい。